

<p>GIGA スクール構想(文部科学省)</p>	<p>○本校の生徒の実態 学習効果測定より、学習に対する意欲が高く、基礎が定着している生徒が多い。主体的な学びを促す学習活動により、更なる思考の深まりが期待できる。</p> <p>○小中一貫教育より 小学校でも日常的にタブレット端末を使用しており、中学校でも継続させたい。</p>	<p>令和5年度の校内研究より 【成果】授業における生徒のタブレット端末の活用頻度の増加、各教科におけるタブレット端末の活用方法の多様化。 【課題】タブレット端末の利用が、研究主題である「主体性の向上」に対して有効であったか、検証を続けていく必要がある。令和6年度、使用できるアプリケーションの変更に対応する必要がある。</p>
---------------------------	--	--

令和6年度研究主題
「生徒の主体性を高めるための学習指導
～生徒の学習用タブレット端末の効果的な活用～

【全教科の授業研究・分科会ごとの協議会】
 教員を3教科から成る分科会に分け、授業研究を行った。各分科会、年間3回の授業研究の中で1教科ずつの研究授業を行い、協議会を行った。

○第1分科会(英語、数学)
 ○第2分科会(美術、保体、技家、理科)
 ○第3分科会(国語、社会、音楽)

【第1回】オクリンクプラス活用研修

【第2回】《授業研究Ⅰ》 令和6年9月25日(水) 対象：第1学年生徒
 ○英語：単元名「Lesson 4 The World's Manga and Anime」
 ◆活用の視点⑤**カメラ機能**を使って発話を入力
 ○保体：単元名「バレーボール」
 ◆活用の視点⑤**動画撮影・オクリンクプラス**を使った振り返り
 ○国語：単元名「故郷」
 ◆活用の視点③**Google スライド**を使った話合いの視点の整理

【第3回】《授業研究Ⅱ》 令和6年11月27日(水) 対象：第2学年生徒
 ○数学：単元名「三角形と四角形」
 ◆活用の視点①**GeoGebra**を使った図形の変形の可視化
 ◆活用の視点②**オクリンクプラス**を使った意見共有、相互評価
 ○理科：単元名「刺激と反応」
 ◆活用の視点①**タイムラプス**を使った反応の観察
 ○国語：単元名「形」
 ◆活用の視点②③**オクリンクプラス**を使った意見の共有、話合い

【第4回】《授業研究Ⅲ》 令和7年2月5日(水) 対象：第1学年生徒
 ○英語：単元名「Take Action! Talk 5 どんな漫画が好きなの？」
 ◆活用の視点①**Ginger**を使った構文チェック
 ◆活用の視点①**DeepL**を使い多様な表現方法を学ぶ
 ◆視点⑤**Google ドキュメント**の音声入力機能
 ○美術：単元名「コラージュで世界に一頭だけのオリジナル動物をつくらう！」
 ◆視点④⑤**オクリンクプラス**を使った学習記録の蓄積、振り返り
 ○社会：単元名「産業の発達と民衆の生活」
 ◆活用の視点②③**オクリンクプラス**を使った意見の共有、話合い

◆タブレット端末活用の視点

<p>【学びを深める】</p> <p>①個々の学びを深める</p> <p>【共有】</p> <p>②考えや作品を学級で共有</p> <p>③グループでの意見の整理</p>	<p>【振り返り】</p> <p>④学習の記録の蓄積</p> <p>⑤音声・動画による振り返り</p> <p>⑥振り返り・意見の提出による学習状況の把握</p>
---	--

【第3回】指導・助言
 東京科学大学 リベラルアーツ研究教育院
 木村 優里先生

- ・ICT活用の4つの段階、「代替」→「拡大」→「変形」→「再定義」において本時の活用はどこにあたるか、今後どのような展開ができるか。
- ・研究主題に対する、授業の振り返りの視点(※)の提示。
- ・普段の授業で困っていることで、ICTで解決したい、解決できそうなもの等、今後の目標設定の提案。

(※)授業の振り返りの視点

- ①ICTを使用することで、教科の目標が達成できたか。
- ②ICTを使うことで、主体性が向上したか。/ICTを使うことで、生徒がどのように変化したか。
- ③ICTを使うことで、不利益が生じていないか。
- ④ICTを使って、他に生徒の主体性を高められそうな場面がなかったか。

【第4回】指導・助言
 早稲田大学 人間科学部
 望月 俊男先生

- ・これまでの講義型の学びから、学習者同士の対話、横のつながりを大切にする授業へ転換していくこと。
- ・生徒が探究的に学ぶために必要なこととは何か。学びの段階の設定、生徒に期待感をもたせるような課題の設定等。
- ・ICTを活用し、生徒主体の授業をつくるということは、生徒に学びの主導権を渡す、ということ。

【本年度の校内研究を振り返って…】

- ・昨年度と比べ、学習者端末の活用方法が多様化した。教科の特性を活かしたアプリケーションの活用事例が多く見られた。
- ・今まで他のアプリで行っていた学習活動がオクリンクプラスを使って、他の要素を加えて行われる等、スムーズな移行、新たな活用方法の提案がなされた。
- ・それぞれが捉える「生徒の主体性」の具体化、それにICT活用がどう役立てられるかという視点、より学習者主体の授業にするための手立ての模索が必要。